

第 1 回 防府市駅周辺まちづくり協議会 会 議 録

■開催日時・場所

令和2年7月2日（木）10時00分から11時10分まで
ルルサス防府1F（ダイソー跡）

■次第

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長及び副会長の選出
- 4 会長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 駅周辺のまちづくりについて

■配布資料

- ・防府市駅周辺まちづくり協議会設置要綱
- ・委員名簿
- ・資料1 スケジュール案
- ・資料2 市中心部での実施事業等
- ・資料3 防府駅周辺の施設等について

■委員名簿（敬称略）

【 区 分 】	【 所属団体名 】	【 氏 名 】	【 備 考 】
学識経験者	山口県立大学	前田 哲男	
団体等の代表者	西日本旅客鉄道(株)	池永 一民	
〃	イオン防府店同友店会	上田 章雄	
〃	防府市文化協会	岡本 早智子	
〃	防府市文化振興財団	河村 俊之	
〃	天神町銀座商店街振興組合	種田 正幸	
〃	(株)山口銀行	坪内 寿郎	代理 三崎 康則
〃	山口県立防府商工高等学校	中村 英哲	
〃	防府商工会議所	中村 元彦	
〃	防府観光コンベンション協会	羽嶋 秀一	
〃	(株)周防夢座	藤本 晃二	代理 松田 民三
〃	防府地域振興(株)	藤本 尚志	
〃	連合山口県央地域協議会	宮本 晴充	欠席
〃	東山口信用金庫	守田 誠	
〃	市民活動さぼーとねっと	山根 和子	
公募等	-	田中 元昭	

■会議録

1 開 会

2 市長あいさつ

来年度着工の新市庁舎建設に伴い、文化福社会館については解体した後に、災害時の対応もできる駐車場とし、現在の機能を新庁舎と駅周辺に移転しようと考えている。また、市道栄町藤本町線の整備や駅北公有地の売却の方針はすでにお示ししているが、今日はこれらに併せて駅周辺をどのようにしたら良いかといったことなどについてご意見をいただきたいと考えている。

行政だけ、民間だけでまちづくりを行うのではなく、地域が一緒になって取り組んでいくために、その中で行政としてできるものをしっかりと行っていきたい。また、現在策定を進めている総合計画において、計画期間の5年間で出来ることの方向性をしっかり出していきたいと考えているので、遠慮なくご意見をいただきたい。

3 会長及び副会長の選出

山口県立大学 前田委員を会長に、防府商工会議所 中村委員を副会長に選出

4 会長あいさつ

まちの中心部を整備していくということは、市民経済の健全な発展、市民生活の安定向上、さらには社会福祉の増進につながっていくと考えている。

5 議 事

(1) 駅周辺のまちづくりについて

【事務局】

- ・ この協議会は3回の開催を予定。
- ・ 今回の会議では委員の皆様から自由に意見をいただき、第2回会議ではそれらを事務局で整理したうえで、今後市が実施していく施策等をお示ししたい。

4 各委員による意見

【会長】

- ・ 今回の会議では、防府市中心部のまちづくりについて、6月10日に実施された「まち歩き」や委員の皆様が普段感じられていることなどを踏まえ、「駅周辺の公共施設等のあり方」や「こうなって欲しいこと」などの想いを自由にお話しいただきたい。また、自由なご意見を出していただくためにも、他の意見や提案などに対して「否定をしない」ということをルールとしたい。

【A委員】

- ・ まちの活性化という観点から、市外から防府に来ていただき、昼食をとってほしい。また、「天神はも」をPRして集客につなげたいと考えている。

- ・ 防府駅南側の道路以外の場所に、自動二輪が乗り入れるケースが見られるため、警察との連携や、何らかの対策がとれないかと考えている。

【 B 委員 】

- ・ イオン防府店について、土地は宝酒造(株)から賃借しており、ニチイのオープン（S57）から 38 年が経過している。建物の耐用年数を 50 年と考えると、45 年目くらいから今後の方針（建て替えかスクラップか）の検討に入ると思われる。
- ・ 物販が e コマースに移行しており、テナントリーシングも厳しい状況。一方、健康志向で市内にフィットネスクラブ等が次々と進出している。
- ・ イオンが今後の方針を検討していく中で、仮にもイオンが撤退ということにならないようにするためにも、駅周辺のまちづくりをどのようにしていくかを真剣に考えていく必要があると考える。
- ・ 商店街も含め、まちを活性化するのも至難の業だと思う。市街地といっても広いので、どこまでをエリアにするかを決め、優先順位をつけて何から行っていくかを検討していくことも必要。

【 C 委員 】

- ・ アスピラートは防府市の芸術文化の振興において大切な役割を果たしているが、現状では 1 F の部分が通り抜けの通路のようになっていて、十分に活かされていないように感じている。
- ・ 現在空き部屋となっている「山頭火の部屋」を改修し、例えば、「防府まちなかギャラリー」といった美術館のようなものを設置してはどうか。また、隣にある「大村能章の部屋」の展示物の移設等も併せて空間の活用を検討していただけたらと考えている。
- ・ 文化福社会館の文化センター機能を新庁舎とルルサス防府へ分割して移転する件については、できるところは一日でも早く実施できると良いと思う。文化センターの機能が駅前に移転すれば、そこでの学びを市民活動支援センターと連携するなどして、その後の活動に活かすこともできるのではないかなと思う。
- ・ 中央公民館としての機能がバラバラにならないよう、社会教育法等も踏まえ、中央公民館・市民活動支援センターそれぞれの役割などをしっかり考え検討を。また、機能移転に伴い、駐車場の確保についても検討を。

【 D 委員 】

- ・ アスピラートの 1 F スペースが空いている。上階ではコンサート等もあるので、大きな音は出せないなどの制約はあると思うが、駅～アスピラート～ルルサスの人の流れをつくっていくことが必要と思う。
また、「(元) 山頭火の部屋」は空き部屋となっており、「大村能章の部屋」についても入場者が多いとは言えない状況。現状の見直しが必要ではないかなと思う。
- ・ 3 F の音楽ホールは音響等に関する評価も高く、市外の利用客が演奏会や学会などで利用されることも多いが、その利用者が出かけていくような場所が周りに少ないようにも感じる。そういった視点でも活性化について検討してはどうか。

【 E 委員 】

- ・ 今年はじめから団体の役員などが集まり、勉強会を毎月開催している。勉強会では、例えばアーケードの撤去や景観整備、一方通行、歩行者と自動車の共存のためのアイデアなどいろいろな方法を考えているところである。
- ・ アーケードがかなり老朽化していて、小さい修理を繰り返している状態であるため、解体または大幅な改修が必要だが、いずれにしても多額の費用がかかることが見込まれる。現在、商店街は空き店舗も増えており、現状では資金的にも厳しい状況。市街地活性化を検討する中で、アーケードもまちの一部として使い方などを考えていただけないかと思っている。
- ・ 市街地の活性化にはアーケード周辺も含め、土地・人の流動性が重要であり、商店だけでなく、いろいろなものが集まることで（まちとしての）可能性がまだあるのではないかと考えている。

【 F 委員 】

- ・ 「地域と共に」ということを原点に考えている。商店街の一角に建物を所有していることもあり、当事者意識を持って関与していきたい。
- ・ 6月10日のまち歩きに参加して、防府に住んでいても知らないことが多くあり、これからのまちづくりを計画していくことに期待している。また、活性化に最大限関与したいと考えているとともに、組織の中に地域の課題解決を専門としている部門もあるため、成功事例の紹介など情報提示できればと考えている。

【 G 委員 】

- ・ まちに対する当事者意識をいかに持つかを大事にして活動している。
- ・ 新型コロナウイルスの感染対策として、県内の県立高校生に一人一台情報端末機器が配布される予定となっているが、そういった機器を持って学校外でも活動を行っていけば、多くのことを吸収できる大きなチャンス（追い風）となると思う。
- ・ 昨年度ルルサス 1F で実施された「まちかどスペース(※1)」のようなコワーキングスペースの場があれば、学校などの垣根を越えて学びあうような場が展開されると期待している。市の中心部にそういった場があるとまちを歩くことにもつながるのではないかと思う。
(※1 R1.11月～R2.2月 中心市街地活性化協議会が社会実験として、ルルサス 1F ダイソー跡をコワーキングスペースとして開放。)

【 H 委員 】

- ・ 団体では、25年後に交流人口を倍増することを目標として事業展開している。
- ・ 防府には一つ一つの素晴らしいものはあるが、それぞれがバラバラでなく、ここにいれば「防府やねえ。(防府らしい)」と言われるような統一感のあるものが必要。20年先、50年先にも「防府やねえ。よく考えたね、昔の人は。」と言われるような、防府らしい統一感があるまちづくりをしていくことが重要だと考える。まずはその統一感を決めて進めていくの

が良いのではないかと。

- ・ 「点を線に、線を面に」ということで、駅から天満宮までがつながるようなまちづくりができると思う。

【 I 委員 】

- ・ ルルサス防府は元々、駅から天満宮に行く間の「ポンプ役」という位置づけで建設された。
- ・ 防府市の一番の観光資源は防府天満宮。JR を利用して防府に来られ、天満宮に向かう人が最初に目にするのがアスピラートやルルサスとなる。そういった駅からの動線となる場所で、例えばアスピラートの市民スペースに天満宮をイメージできる展示などがあれば、ファーストインプレッションとして良いし、まち歩きへの効果も高いのではないかと。天満宮のイメージを印象づけることによって、飲食やまち歩きが楽しみになるようにすると良いと思う。

【 J 委員 】

- ・ ルルサスに空き店舗の多い現状は残念に思う。
- ・ 駅からアスピラート、ルルサスを通り天満宮までを歩きたくなるような道のり（動線）を整備できると良いと思う。
- ・ 市営中央町駐車場について、市内の一等地にあるが、見てみると寂しい感じがする。市民の方が行ってみたいと思えるような場所として有効活用できると良いと思う。

【 K 委員 】

- ・ 先日のまち歩きでもアーケード街のシャッターが目についた。
- ・ 何かを辞める時の方が、始める時以上にパワーが必要。終活にも力を入れていくことで新しいものも生まれるのではないかと。そういったことの支援もしていきたいと考えている。

【 L 委員 】

- ・ ルルサス 2F の貸室は、県内でも珍しくネット環境が整っており、集客が狙える。
- ・ ルルサスは親子ふれあい広場、図書館もあり、近くのイオンで買い物もでき便利だが、駐車場に関する要望を多く聞く。例えば、防府市民は無料で駐車できる時間を延長するなどできないか。
- ・ 防府にある企業のものなどを扱うセレクトショップのようなものが駅周辺にあると良いと思う。
- ・ 防府には 4 年制の大学がないので、（進学先として）市内にある短大が 4 年制になると良いという意見も聞く。また、防府市から近隣の市にある大学に通う学生が多いが、その学生たちが地元で活動（ボランティアやアルバイトなど）をしてくれるようになると良いと思う。
- ・ 昨年度ルルサス 1F で実施した「まちかどスペース」について、子供たちの評判はとても良かった。リクエストも多い。

【 M 委員 】

- ・ 建物を外から見て、人がいて、何かやっているのが見えると、「入ってみようかな」と思う。アスピラート 1F で、小さなイベントでも良いので、例えば文化展、演奏会、物販などの実施を市民に呼び掛け、場所を提供することによって人がいる状態を作り、それからルルサスなどへの動線を作っていくと人の流れができるのではないかと。
- ・ アスピラート 1F の、空き部屋になっている「(元)山頭火の部屋」などに、歴史や観光だけでなく、偉人や産業も含めた、「防府のすべてがわかる」コーナーがあると防府への理解も高まるのではないかと。
- ・ 駐車場について、新山口駅周辺などに比べ、防府駅周辺は安い駐車場が少ない印象がある。長時間駐車料金の安い駐車場があれば、防府駅の利用増も見込めるのでは。
- ・ ルルサスのフードスタジオで、広く職場や子供会などで気軽に「カレー作りの会」などを行ってみんなで食べる、といったようなことが日常的にできると良いと思う。
- ・ 駅周辺に（特に時間外や土日に）市役所の手続き関係ができるような場所があると良いと思う。

【 N 委員 】

- ・ 若い人は防府駅から天満宮までのルートについて、あまり歩いて行くという印象がなく、夕方以降暗くなると怖い、というイメージもあるとのこと。また、先日のまち歩きでは、道が狭く、道路としての機能が十分でないようにも感じた。そういったことを考えると、まちを歩いて楽しくなるような雰囲気づくりが必要だと思う。
- ・ 市道栄町藤本町線が整備されるということだが、市の他の場所でも、周りが田んぼばかりの所が、道ができることによって大きく変わったということを実際に見てきているので、完成するとまちが大きく変わってくるのではないかと感じている。
- ・ 防府のまちなかは、南北の道路が少ないので渋滞を引き起こしている要因にもなっていると思う。また、公会堂からの東西の道も含めて整備するとさらに大きく変わるのではないかと。
- ・ 市街地には空き店舗や空き家から駐車場になっている所も多く、寂しく感じられるので、道路の拡幅などのインフラ整備によって、まちが活性化していくと良いと思う。

【 O 委員 】

- ・ 最近、市街地に限らず、フィットネスの店舗が増えている印象を受ける。
- ・ アスピラート 1F の空き部屋などの活用を。

【 会長 】

- ・ 本日委員の皆様から頂いたご意見については、事務局において、十分整理、検討するようお願いしたい。

【市長】

- ・ 本日は貴重なご意見をいただき感謝している。今回、駅周辺の活性化について注目していただいたということに意義があると考えている。
- ・ 防府市には良いものがたくさんあるが、気づかれていない、活かされていらないようにも感じている。
- ・ 例えば、旅に出た際、駅がそのまちのイメージになると思う。鉄道高架から今年で 26 年になるが、それが活かされているかということも考えながら、本日いただいたご意見等をまちづくりに活かし、しっかり取り組んでいきたい。

【事務局】

- ・ 次回会議は 8 月を予定。